

豊栄病院患者総合支援センター いするぎ通信 平成31年2月号

雪が少なくても良い感じですが、いかがお過ごしですか？
今月もいするぎ通信をお届けします。

臨床検討会のお知らせ

日時:平成31年3月12日(火) **午後7時**
場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール
講演1:「看取りの方針」開始1年後のまとめ(仮)
柄澤良 先生
講演2:せん妄に対する当院の取り組み(仮)
宮島透 先生
共催:豊栄病院、アステラス製薬株式会社

●3月の臨床検討会から開始時間を1時間遅らせません。院外からも多くの参加を御検討ください。講演1は、昨年度より開始した看取りの方針に基づく看取り検討会などの経過をまとめます。今後在宅や施設での看取りが増える可能性があります。参考になるかも。講演2は当院のせん妄に対する取り組みを院長先生が話します。ベンゾジアゼピン系薬剤の減量の問題等も入ると思われます(柄澤)。

●松浜地区とのバス連絡が可能となりました。

豊栄病院のバス運行の一部を変更いたします。以前より松浜・南浜地域の患者様の通院に関しまして利便性の向上を図るべく思案しておりました。今回、北区役所との協力によりバス運行を一部変更し豊栄病院へのアクセス向上を図りました。松浜地区からの「おらってのバス」と新崎駅で接続できるようにしました。また西・北コースでは「おらってのバス」「区バス」のバス停を一部利用しました。なお、時刻表は1月24日に新聞折り込みチラシ形式で該当地域に配布しましたが病院正面玄関入口にも置いております。利用につきなにかご意見がありましたら病院へご一報ください(事務長 加藤耕一)。

●多職種チームでの看取りの検討会

日時:平成31年3月12日(火)午後5時15分
場所:豊栄病院 多目的ホール
問い合わせや参加は患者総合支援センター天木まで(柄澤)。

●ほうかん日誌:この新聞配達の人を表彰したい

一人暮らしの90才台 女性です。子供は県外在中。家の中は、多くの手すりや家具につかまり何とか歩行しており、サービスを利用しながら一人暮らしを続けていました。徐々に動きは、緩慢となってきていました。ある夜、玄関の鍵をかけに、手すりをつたっていきましたが転んでしまい立てず、朝の牛乳配達の方が発見し冷たくなっている女性を部屋まで連れて行って(どうやって連れて行ってくれたのだろう)温かい飲み物を飲ませて、どうなっていたのか手紙を書いて置いてありました。住み慣れた家で暮らしたいという本人の思いで関わっていましたが、いつか転ぶだろうという危険を関係者と感じていたところでした。そんな中で牛乳配達の方にお世話になったことは、まさに地域包括的ケア、地域で支えるつながる事が大切であると感じました(真実:まなみと読みます)。

●糖尿病教室

日時:平成31年3月15日(金)午後1時半
場所:豊栄病院 多目的ホール
隔月開催の糖尿病教室。対象は糖尿病初心者です。患者様の紹介の他、スタッフの参加も歓迎します。今回は2名の施設スタッフにご参加いただきました。今回は3月15日です。お問い合わせは患者総合支援センター天木へ(菊地)。

●在宅医療バックアップシステムの現況

平成29年11月末と平成30年12月末の登録患者の住所を地図上にプロットしたものを比べました。29年11月末には丸内に登録がありませんでした。30年12月末の時点でこの地区の登録が増えています。在宅医療バックアップシステムが、北区在宅医療のセーフティネットとして機能してきたかな(柄澤)。



編集 春よ来い、早く来い。センター長 柄澤良